

アセットライ

AT ADMINISTRATION (CAYMAN) LIMITED
作成日：2016年4月28日

2016年3月運用報告書(2016年3月1日～2016年3月31日)

純資産の推移(一口=百万円)

【年平均騰落率：5.92%】

	設定時 (1999/2/1)	2015年11月末	2015年12月末	2016年1月末	2016年2月末	2016年3月末
1口あたりの 純資産価額(円)	1,000,000	1,782,192	1,803,307	1,922,758	2,010,526	2,016,900
月次騰落率	—	3.27%	1.18%	6.62%	4.56%	0.32%
設定来騰落率	—	78.22%	80.33%	92.28%	101.05%	101.69%

各セクターごとの損益

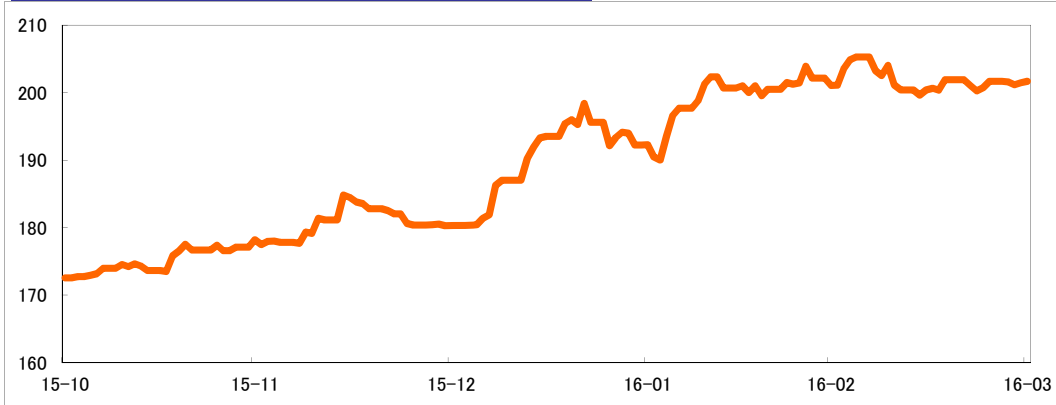
2016年3月の運用成績はプラスとなり、アセットライは前月比0.32%の利益となりました。

通貨・為替	金利	株価指数	エネルギー	金属	農産物	その他商品
--	-	++	--	+	+	+

(注) +は利益、-は損失、その数が損益の大きさを表しています。

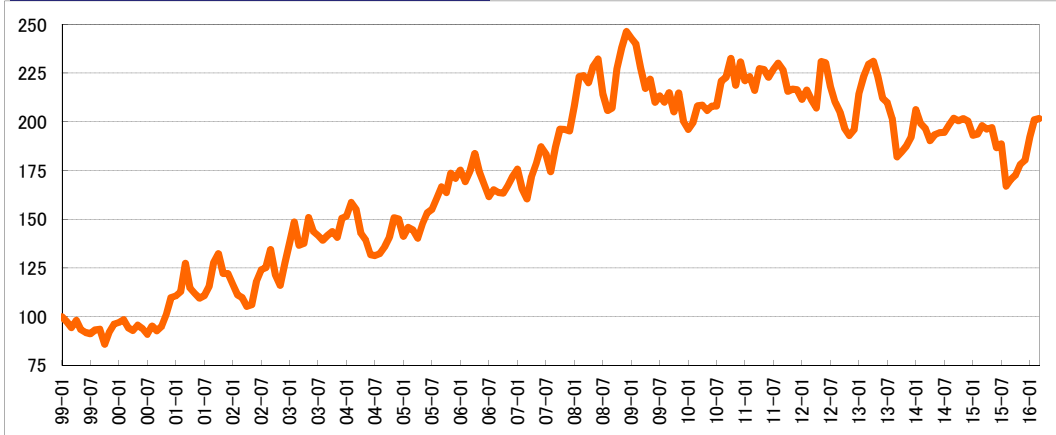
一口あたり純資産価額の推移 直近五ヶ月間

単位：万円



一口あたり純資産価額の推移 設定来

単位：万円



マーケット概要

米ドルは、対円では114円台半ばから円高が進行し、一時110.65円をつけるなど、主要通貨に対し円はほぼ全面高となりました。日銀のマイナス金利導入で海外投資家による日本国債購入の活発化、日本株からの撤退に伴う円買い需要が背景となりました。一方、ユーロは米国の穏やかな引き締め見通しから、1.08ドル台から1.14ドル超えへと上昇し、ドル安傾向が強まりました。

主要国の短期金利は、マイナス金利を導入している円、ユーロではマイナス幅が小幅拡大、ドルは金融政策維持から横ばい推移となりました。長期金利は、前半は株式市場の堅調から米、独で利回りがわずかに上昇しましたが、ECBの追加緩和決定やベルギーのテロによるリスク回避から後半は低下傾向。国内では10年債利回りがマイナス圏で推移し、過去最低となりました。

主要国の株価指数は、米国株主導で堅調となりました。ECBの追加緩和策発表や、FOMCでの利上げ見送りが支援となったほか、原油価格の反発でエネルギー・素材関連銘柄が持ち直したことも指数を押し上げました。ただ、ベルギーでのテロや、英国のEU離脱を問う国民投票に向けての不透明感から欧州株は次第に停滞、日本株も円高が圧迫となり伸び悩みました。

原油相場は、ブレントが当初の36ドルから一時42ドル台へ上昇しました。OPECと非加盟産油国が協調した増産凍結に向けての動きが期待されたほか、米国の利上げ見送りによるドル安が支援となりました。ただ、当初3月中旬に予定されていた産油国の会合が4月に先送りされるなど、参加国の協調姿勢や増産凍結の効果に懐疑的な見方が広がり、40ドル割れで越月しました。

金相場は、当初の1,237ドルから上昇傾向となりましたが、中旬高値1,282ドルを経て再度1,208ドルへ下落するなど、ほぼ横ばいでの推移となりました。2016年に入って当初の米金融引き締めの見通しが後退し、金も下値を切り上げましたが、投資家の関心は上昇を継続する株式市場に向かい金に対しては低下、アジアでの現物実需の減退から上値は抑えられました。

トウモロコシ相場は、当初の355セント前後から上昇しました。南アフリカでは干ばつでトウモロコシが減産となったほか、ブラジルの通貨高で米国産の輸出競争力が改善したことや、米国の作付時期を控え天候リスクを織り込む動きから370セントを回復。ただ、月末に米農務省が発表した作付意向面積が予想外に増加したため急落し、月初の水準を割り込んで越月しました。

《投資家の皆様へ》1999年3月以降に追加出資された方は、取得口数が参加時期により異なりますので、別添の募集月別のアセットライ評価額一覧表にてご自身の損益をご確認ください。

【お問合せ先】岡藤商事株式会社 コールセンター

フリーコール：0120-33-7639(受付時間：土日祝日を除く平日8:30～17:00)

E-mail：center@okato.co.jp Web site：http://www.shouhin-fund.com/index.html#assettry

◆当資料は金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。◆騰落率の数値は、運用開始日の1口当たりの純資産価額(¥1,000,000)を基準に算出しています。(小数点以下第3位を四捨五入)。◆当ファンドの運用成績は過去の実績に基づいたものであり、将来の運用成績を保証するものではありません。◆当ファンドの純資産価額は運用対象である商品、有価証券、通貨、金利等の先物取引や現物取引などの値動きの影響を受け、投資元本を割り込むことがあります。◆当資料は当ファンドの受益者へ情報を提供することのみを目的としたものであり、ここに記載される商品の売却や購入について勧誘するものではありません。◆当ファンドは円建の積極運用追加型商品ファンドです。

「アセットトライ」に係る手数料等について

参加手数料：申込金額の2.16%（消費税含む。）

解約手数料：解約金額の1.0%（解約時にお客様が受け取る実際の受領金額は、営業指定銀行における海外送金手数料及びお客様受取銀行における事務手数料が解約償還金額から控除された金額となります。）

管理料：純資産価額の年率1.5%

先物投資顧問料：運用委託額の年率2.0%

成功報酬：運用収益の20%

先物取引手数料：（海外先物取引/海外先渡取引）原則として1枚（往復）当たり上限15米ドル
（外国為替取引）原則として百万米ドル（又は外貨の相当額）に対して上限15米ドル

業務代行報酬：純資産価額の年率0.15%

その他費用（実費）：初期費用、送金銀行に対する手数料、先物運用会社の会計監査費用、営業者及び先物運用会社の期中管理に係る費用、営業者の登録に係る費用、期中に於ける弁護士・税理士費用（ケイマン諸島に於ける弁護士費用を含む。）、関係会社及び先物運用会社のシリーズA株式に係る計算・会計事務に関わる費用、営業者株式の信託会社に対する受託費用・本商品ファンド継続販売のための書面に係る企画・改訂・印刷費用等

管理料、先物投資顧問料、成功報酬、先物取引手数料、業務代行報酬及びその他費用については、事前に計算できないため、当ファンドに係る手数料等の総額または上限額を表示することはできません。

「アセットトライ」に係るリスクと留意点

当ファンドは、先物市場等の値動きにより、大きな収益を得る可能性がある反面、投資元本を割り込む損害を受ける可能性もあるハイリスク・ハイリターンの商品です。投資する商品は多岐にわたり、各々の商品に対して買いのポジションも売りのポジションも持つため、先物市場又は外国為替市場等の特定の指標の値動きが先物運用顧問会社の判断と異なる場合は損失が発生することがあります。当ファンドは元本や収益が保証されているものではありません。資産の一部が外貨建てで運用されるため、為替の変動により収益・損失が増減することがあります。預金保険の適用はありません。当ファンドでは、1口当たりの純資産価額が700,000円を下回った場合には繰上げ償還することがあります。クーリング・オフの適用はありません。投資家が取得する商品ファンド関連受益権は、相続、遺贈、破産その他これらに準ずる場合または金融商品取引業者が転売する場合を除き、第三者には直接譲渡できません。契約締結前交付書面を十分にお読みいただき、当ファンドの特徴とリスクの内容をご理解下さい。

金融商品取引業者の概要

商号：岡藤商事株式会社

登録番号：関東財務局長（金商）第2608号

本店所在地：東京都中央区新川2-12-16

加入している金融商品取引業協会：一般社団法人第二種金融商品取引業協会